

国民に強い衝撃を与えた東日本大震災、
そして直後の原発事故。

未曾有の大災害を単に知識として学習するのではなく、
いかに自分の問題として考え、今後につなげるかを
アクティブラーニングの手法を通して主体的に学ぶ！

アクティブラーニングで学ぶ 震災・復興学

放射線・原発・震災そして復興への道

庄司美樹・新里泰孝・橋本勝 編著



2020年
9月刊行!

定価：1,500円＋税
体裁：A5判・並製・184ページ
ISBN978-4-86617-100-5

二〇一一年三月十一日、東日本各地に甚大な被害を与えた東日本大震災は、地震・津波のほかに原子力発電所の崩壊をももたらすという、世界的にも類を見ない深刻な状況を引き起こした。震災とその後復興を考えるには、文系・理系の総合的知識が必要だと考えて、富山大学では一三人の教員が震災・復興学の授業を立ち上げた。そして、こと原発被害を含めた本震災については、科学的・政策的に未解決の課題をはらむため、科学コミュニケーションの意識を持ってアクティブラーニングをおこなうことこそ有効と考えた。本書はそのためのテキストである。本書を使って、当時の状況を単に知識として知るのではなく、若い学生たちが自分の問題として考えるための絶好のトレーニングになることを期待する。

注文カード

帖合・書店名

〈八木書店経由〉

注文数

冊

定価◆本体一、五〇〇円＋税

ISBN978-4-86617-100-5

放射線・原発・震災そして復興への道

アクティブラーニングで学ぶ震災・復興学

発行||六花出版 庄司美樹・新里泰孝・橋本勝||編著

お名前

電話番号

注文 年 月 日

*小社は注文制です。お近くの書店にご注文ください。
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話 03(3293)8787 FAX 03(3293)8788 電子メール info@rikka-press.jp

目次
序 庄司美樹・新里泰孝・橋本勝

第I部 放射線と原発

- 第1章 身の回りの放射線——庄司美樹
- 第2章 放射性同位元素とその物理学——西村克彦
- 第3章 放射線の生体への影響——小川良平
- 第4章 放射線と医療——齋藤淳一・近藤隆
- 第5章 放射線と薬——櫻井宏明
- 第6章 原子力発電の仕組みと福島第一原子力発電所事故——波多野雄治

第II部 震災と復興

- 第7章 環境と経済の持続可能性——新里泰孝
- 第8章 地域生活者の価値空間と空間価値——龍世祥
原発事故補償問題を考えるために
- 第9章 原発のコスト——大島堅一
- 第10章 被災地の産業は回復したか——大坂洋
- 第11章 岩手の水産業復興——杭田俊之
なりわいと地域社会の持続性
- 第12章 新しい海街を描く難しさ——鈴木清美
宮城県南三陸町より

第13章 避難児童が取り組む「ふるさと学習」——初澤敏生
福島県の「ふるさと創造学」を例に

第14章 もし富山で大震災が起きたら……—橋本勝

あとがき／執筆者紹介

序

庄司 美樹・新里 泰孝・橋本 勝

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、甚大な被害をもたらした未曾有の出来事である。なかでも福島第一原発崩壊は大きな衝撃を与え、長期的影響を及ぼしている。まもなく10年となる今も、被災地の復旧、復興は十分には進んでいない。

東日本大震災には大学教員も大きな衝撃を受けた。富山大学では、その衝撃を学生たちと分かち合おうと、いち早く教育テーマとして扱った。同年4月には、橋本は教養科目「社会科学の方法と理論」で、新里は共通基礎科目「情報処理」でこのテーマを取り上げて授業を行った^①。その後、富山大学経済学部では被災地から講師を招聘した講演会や、学部を越えた文系教員による授業等が行われた^②。

一方、この事故により大量の放射性物質が環境中に放出された。そして、事故の経過とともに食品などの放射能汚染に関する報道が連日のように行われ、社会に放射線に対する健康不安や風評被害が広がった。放射線関係の教員からは、事故当時の学長が福島県出身であったこともあり、富山の地から福島の復興のために何かできることはないかとの声が上がった。2012年より現在まで様々なテーマの市民公開シンポジウム等を開催し、放射線に関する情報発信を行ってきた。テーマは放射線一般に関するものから、原発事故時の危機管理、事故後の環境放射能調査と農林水産業への影響まで多岐にわたった。当初は学内の放射線関係教員が企画し、学内外より講師を招聘していたが、2015年には富山大学、弘前大学、東京大学の3大学連携事業として「放射線と環境・食

内容見本